

公民館だより

No. 363号
令和元年8月1日
大平地区公民館発行
Tel 982-0171



「唐川びわ直売 唐川びわウィーク」



6月7日（金）から20日（木）まで約2週間、唐川地区で生産農家が沿道の9ヶ所でびわを直売する「唐川びわウィーク」が行われました。この「唐川びわウィーク」は、恒例行事で長年開催していた「唐川びわまつり」を今年では中止することとなり、代わりにのイベントとして、唐川地区の農家8戸と1グループが地域特産の唐川びわを、より多くのお客様さんに届けるため一定の期間を設け直売する形態で行われました。



各直売所では、南山崎小学校の児童が描いた黄色ののぼり旗を目印として掲げて、生産者自らが訪れたお客さんとの会話も楽しみながら販売をしていました。

市外から来たという人も多く、地域特産の唐川びわを多くの人に知ってもらうとともに、地域内外の親睦と連帯を深めることができました。



「小学生社会科見学」



6月25日（火）南山崎小学校2年生が、大平地区公民館や大地蔵堂を訪れ社会科見学を行いました。

公民館では矢野公民館長から施設の役割、各研修室の説明等を受けました。大地蔵堂については、大平さわやかクラブ田中会長より、お堂が建てられた経緯等について説明を受けました。

小学生たちは、熱心にメモをとりながら説明を聞き、分からないところ等は、積極的に質問をして理解を深めている様子でした。



「森山祭り」

7月7日（日）旧ごしきの里を会場に「森山祭り」が行われました。

地区のみなさんが作成した灯笼には、折り紙を切り貼りして工夫をこらしたものや、墨や水彩絵の具で夏の風物詩を描いたものがあり、見応えがありました。灯笼は、作品審査の後、国道沿いや神社の境内に並べられました。一方、会場では、かばら揚げやポテト、焼き鳥、たこ焼き、ビールの販売があり、子どもたちが金魚すくいに夢中になったり、カラオケ大会が行われたりと盛り上がりを見せていました。

日が暮れると、灯笼の薄明かりが暗い中で浮かび上がり、いつもと違った風景を作り出していました。



おおひら保育所

「おおひら保育所夏祭り」



7月12日（金）おおひら保育所で「夏祭り」が行われました。かき氷やポップコーンの夏の定番メニューを始め、お菓子釣りやスパーボールすくいなど、趣向をこらしたイベントも行われ、子ども達は夢中になって遊んでいました。



会場内は子供たちや地域の皆さんでいっぱいになり、祭りの最後には、抽選会や花火・お菓子まきも行われ、最後まで来場者の笑顔で賑わいました。



「子どもを語る座談会」

7月9日（火）緑風館で「子どもを語る座談会」が開催され、保護者や地域の方々、子育てサポートグループ、小中学校の先生方が参加して行われました。

初めに小・中学校から夏休みの生活についてのお話があり、その後、選択理論実践パートナー・井上千代先生から「プラスの言葉は幸せを呼ぶ」と題しての講話をいただきました。講話において学んだことも取り入れ、グループ懇談では「相手を思いやりお互いにプラスとなる言葉をかけることが重要」など、様々な意見がでる等活発なものとなり、大変に有意義な会となりました。



〇〇〇 8月の行事予定 〇〇〇

- ◇ 愛護班サマーキャンプ
3日（土）～4日（日） 南山崎小学校
- ◇ 地区別人権・同和教育懇談会
21日（水）19：00～ 大平地区公民館
24日（土）19：00～ //
- ◇ 大平夏まつり
31日（土）16：40～ 大平地区公民館駐車場
(雨天時：園芸倉庫)

